

## 令和8年度 第2回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和8年5月21日（木）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・小水力発電関係工事については、6月27日に起工式を予定しており、施工業者である平林建設株式会社と協力しながら、具体的な段取りを進めている。また工事に伴い交通規制が必要になるが、児童生徒の通学に支障が出ないよう、関係機関と細かく調整し、安全第一で進めていく。
- ・上生坂・草尾地区のマイクログリッド事業も着実に進んでおり、国際情勢の影響で資材や設備の納入時期に不安な面もあるが、関係者の皆さまの努力により計画的に進めていただいている。
- ・松本山雅の皆さまには村政懇談会にも毎回出席いただき、議事録作成や広報資料づくりなどで大変お世話になっている。村民の皆さまに分かりやすく伝える工夫をしていただいております、大変頼もしく感じている。

### 【協議事項】

#### ○令和8年度 小水力発電所建設事業について

- ・ダム上流側の村道で工事の数か月間車両通行止めを行う予定だが、この道路は小学生2名、中学生9名、高校生3名が通学で利用する重要な道路でもあるため、歩行者や自転車が通行できる幅約1.3mの仮設通路を設置する案を協議している。工事期間中は誘導員を配置し、保護者や住民の皆さまにも分かりやすく案内できる体制を整える予定。
- ・6月14日(日)午前10時から地元説明会を開催し、6月27日(土)には安全祈願祭を行う予定としており、消防・社協・郵便局、その他関係機関とも個別に調整しながら、安全に工事を進めていく。

#### ○令和8年度マイクログリッド事業について

- ・上生坂地区では、蓄電池から各施設へ電力を供給するための連携設備の整備

が進んでおり、B & G 海洋センター裏の大型蓄電池周辺には子どもたちの安全確保のため柵を設置し、必要な時のみ車両が入れるよう両開きの門を設ける検討をしている。

- ・草尾地区では、電柱設置や河川横断工事、蓄電池設置に向けた調整を進めている。河川横断工事は、増水期を避けた年末頃を予定しており、蓄電池設置工事は、ブドウ収穫期を避けて 11 月末から 12 月頃に基礎工事を開始する予定。
- ・保安林関係の伐採について、手続き期間に関する質問があり、今回のケースは松本地域振興局長権限で許可が出る案件ではないかという意見があった。

#### ○事務局サポート業務（「龍と子」5月号等）について

- ・松本山雅から、以下のとおり編集方針の説明があった。

村民の皆さまには脱炭素やマイクログリッドの取り組みを、より分かりやすく、親しみやすく伝えることを重視していく方針。

主な方向性として、

- ・専門用語をできるだけ避ける
  - ・Q&A 形式で読みやすくする
  - ・実際に恩恵を受けた村民の声を掲載する
  - ・停電時に蓄電池が役立った事例を紹介する
  - ・「全国に先駆けた取り組み」であることを分かりやすく伝える
  - ・子どもたちや若い世代の声も取り入れる
- などが示された。

6 月には生坂中学校で授業を行い、子どもたちの声を集める予定。村政懇談会での村民の声、既存アンケート、子どもたちの意見などを合わせ、9 月頃に広報誌を大きく刷新していく計画。

5 月 12 日の停電時、蓄電池が設置されている下生坂公民館では、会議準備を中断することなく継続できたとの報告があった。これは、停電時における蓄電池の効果が実際に表れた大変分かりやすい事例であるため、災害時や停電時にも地域の活動を止めない仕組みとして、今後、広報誌などで村民の皆

さまにお知らせしていくことを検討。

○令和7年度フォローアップについて

- ・ 現在の実質ゼロ達成率は 27.15%で、他自治体と比較しても決して低くない数値。ただし、最終的には 100%達成を目指す必要があるため、今後さらに取り組みを加速させていかなければならない。
- ・ 令和6年度には約 1,350 万円のエネルギーコスト流出抑制効果があった。村外へ流出していたエネルギー代金を地域内にとどめることは、村の経済循環にもつながるため、このような効果も数字で分かりやすく示し、村民の皆さまに脱炭素事業の意義を伝える機会を検討していく。